



実りある夏休みに

子どもたちが待ちに待った44日間の夏休みが始まります。夏休み前の最終日には、オンライン集会を行いました。校長と生徒指導主事から、安心・安全で、健康な毎日をご過ごせるように、夏休みの生活についてお話をしました。各学級では、夏休みのしおりに基づいて、生活面と学習面について学級指導を行いました。

今年の夏休みは、ひたちなか市や地域のイベントがたくさん開催されます。様々な体験を通じた学びや、ゆったりと過ごして心をリフレッシュするなどして、充実した夏休みを過ごしてください。

オンライン集会 ～ 安心・安全な夏休みを過ごすために ～

- 自分の命は、自分で守る。(ルールを守る、危険に近づかない)
- 家族との約束を守る。(生活リズム、インターネットの使い方、外出時のきまり)
- 交通ルールを守る。(自転車の乗り方、ヘルメットをかぶる)
- SNS被害にあわないための3つの約束を守る。



※(SNSで知り合った人と)会わない、(個人情報)をのせない、(自分や友達の写真を)送らない
◎詳細については、「夏休みの生活」(R6.7.17 H&S 配信)をご確認ください。

5年生 宿泊をともなう共同学習

7月9日(火)～7月10日(水)に、水戸市少年自然の家で宿泊をともなう共同学習を行いました。スローガン「笑顔あり、笑いあり、最高でかがやく思い出を」を目指して取り組みました。熱中症対策のため、体験活動の全てを屋内の活動にしましたが、館内ウォークラリー、焼き杉板作り、キャンプファイヤー、カレー作りを、友達と協力して取り組み、友達と過ごす時間を楽しみました。「もっと友達と一緒に過ごしたかった」と振り返った1泊2日の宿泊学習で、協力と責任、楽しく過ごすためのマナーや工夫などを学びました。



4年生 点字体験学習(7/8)

総合的な学習の時間で「福祉」を学んでいます。今回は、視覚に障害のある方が使う「点字」を体験しました。点字ボランティアの方々から、点字の仕組みや、読み方・打ち方を学びました。点字定規や点筆を用いて、50音表を見ながら自分の名前を打ちました。これまでの体験学習で、アイマスク、車いす手話体験などを通して、「福祉」という言葉の意味を知りました。今後は、「福祉」について一人一人が考える探究学習を進めていきます。



第2回 防犯パトロール連絡会(7/18)

津田小の子ども達の安全な登下校を図るため、学校と各種団体との情報交換会を、年間3回行っています。今回は、登下校の様子や、休日等の遊び方などが話題になりました。課題は、防犯パトロール隊の人手不足です。高齢化や新規協力者がいないことから、信号機のある場所での立哨ができなくなっている地区もあることから、散歩パトロールへの協力を呼びかけているそうです。また、地域の公園では、お菓子や水風船などのゴミが散乱して地域の方が掃除をしているという状況を伺いました。地域の方に支えられている学区であることを改めて見つめ直し、交通ルールや公共マナーを守ることの大切さを、子どもと共に考えていきたいと思えます。



<連絡会の皆様>自治会防犯パトロール会、民生委員児童委員、二中学区地域の輪をつくる会青少年部会
PTA 安全指導委員会、津田小交通安全母の会、津田小学区育成会、警察関係の皆様

第1回学校保健安全委員会(7/19)

児童生徒・教職員の健康保持・増進を図るために年間3回開催されます。学校医、保護者とともに、運動・安全・食育・保健面の協議をし、学校医からご助言をいただきました。安全面では「学校駐車場で遊ばない。駐車場の入口から出入りしない。信号機のない交差点や道路の横断をしない。」など、放課後の遊び方や自転車の安全な乗り方の指導をすること。学校医からは「中学年の歯の磨き残しがあるため、虫歯予防のためのブラッシング指導が効果的である」「10～20代の女性において市販薬の過剰摂取が増加傾向であること。当事者の心を理解し寄り添う大人の必要性」についてご助言をいただきました。

